

## 学校再開に向けての新型コロナウイルス予防対策

- 1、感染症予防は、「感染源の隔離」「感染経路の遮断」「感受性個体の抵抗力の向上」を実施すること
- 2、「密集」「密接」「密閉」の3密をできるだけ避けるようにすること  
このことを前提に予防対策に取り組んでいきます。

### (1)登校時にお願いしたいこと

- ① 登校前に必ず**検温などの健康観察**を行い「健康観察表」に記入させください。「健康観察表」は、毎日持参させてください。朝学活前に担任が健康観察とともにチェックします。発熱や体調不良がある場合は早退とさせていただきます。絶対に、**無理に登校させないでください**。
- ② 各クラスでの健康観察の結果、風邪症状など普段と違う症状がある人や体温が高めの人は保健室で再度確認します。その結果、無理をしないほうがいいと判断した場合は早退とさせていただきます。この場合は、欠席とはならず「出席停止」となります。御理解ください。

### (2)基本的な予防

- ① **手洗いをしっかり行う**。(手洗いの方法は流しにポスターで掲示してあります)  
登校時、昼食前、体育の授業後、外遊び後、トイレの使用後など。
- ② **咳エチケット**  
マスクの着用にご協力ください。咳やくしゃみだけでなく会話でも飛沫感染するのでマスクをつけるように指導していきます。マスクをつけるときは、手を洗ったあと鼻の形にマスクを合わせてあごまで隠れるようにしっかりおおうようにつけることが大切です。  
マスクをしない場合に咳などをするときにはハンカチや袖で口元をおさえるように指導していきます。
- ③ **抵抗力を高める**  
免疫力(ウイルスに抵抗する力)を高めるために、十分な睡眠、適度な運動(屋外での散歩やランニングなど)やバランスの取れた食事を心がけてください。
- ④ **ハンカチを持参する**。  
予防の基本は手洗いです。ハンドタオルやタオルなどを必ず持ってくるようにしてください。貸し借りは禁止です。
- ⑤ **爪を短くする**  
ウイルスは指の先にも付着します。爪の指の間にも付着します。爪を短く切ってしっかり洗えるようにしてください。

### (3)集団感染を予防するために

**3つの密を避ける**ことが大切です。3つのうち1つでも感染リスクがあるので注意してください。

3つの密その一・・・**換気の悪い密閉空間にしないこと**。

- ①教室は1時間に1回は窓とドアを広く5分以上開けます。また、常に窓を10cm程度2方向開けておきます。  
雨天時やエアコン使用時でも十分配慮して行います。
- ②廊下の窓は常に10cm以上開けておきます。
- ③特別教室、体育館においても同じようにします。特に体育館においては雨天時など困難場合でない限り常に窓を大きく開けて活動します。

④更衣室の密集を避けるため当面の間体育の授業があるクラスについては体育着で登校をしてください。

授業後に更衣が必要な場合は時間差をつけて授業を終わらせます。

3つの密その二・・・**多くの人が手の届く距離に集まらないこと。**

両手を広げて手と手が触れない距離がいいとされています。多くの人が集まるときには注意していきます。また日ごろから一人一人が注意するように指導していきます。

3つの密その三・・・**近い距離での会話や大声での発声をできるだけ控えること。**

会話をするときはお互いが腕1本分離れるようにします。会話はマスクをしたままにすることを指導していきます。

3つの密が揃うと感染集団が発生するとされています。1つでも感染リスクがあります。一人一人が十分に気を付けるように指導していきます。

<文科省、東京都、町田市各ガイドラインより抜粋>

#### (4)その他

- ①トイレは周囲を汚さないように使い、流すときはふたを閉めるように指導していきます。(排泄物が飛ばないようにするため。)
- ②うがいをするときには姿勢を低くしてしぶきが周りに飛ばないように指導していきます。(うがい時に飛沫させないため)
- ③感染予防ために当面、職員室横の給水機は使用禁止になります。大き目の水筒を用意するなど熱中症の予防にも気を付けるようにしてください。
- ④登下校時は、感染予防のために動物に触らないように指導していきます。

#### (5)心のケア

感染予防のために学校が休業になったり行動が自粛されたりして気分がめいったり、落ち込んでしまった人もいます。心配なことがあるときは周りの信頼できる人に相談するように声をかけていきます。保健室やスクールカウンセラーにも相談できることを伝えていきます。

#### (6)大切なこととして以下のことを伝えていきます。

**新型コロナウイルスは誰でも感染する可能性のある疾患です。自分の周りにかかった人やかかった人の近くにいる人がいても絶対にそのことで責めたり、からかったりしないでください。いじめなど絶対に許されません。自分も感染する可能性がある疾患であることを忘れないでください。また、とても悲しいことに医療従事者、配達員の方や商店の方などを非難する人がいると SNS やテレビでの報道がありますが決して許されることではありません。罹患した人や日常生活を守るために働いていただいている人達に感謝することを忘れないようにしましょう。など指導していきます。**

\*学校では教職員の検温を含む健康観察を行うとともに、教室やトイレなどを次亜塩素酸ナトリウムで消毒していきます。

以上のことを中心に指導していくとともに予防対策に取り組んでいきます。